

2019 年 3 月 22 日



2018年度「なでしこ銘柄」に選定

第一生命ホールディングス株式会社(社長:稲垣 精二、以下「当社」)は、女性活躍推進の優れた上場企業として経済産業省と東京証券取引所が共同で選定する 2018 年度「なでしこ銘柄」に選定されました。当社グループが「なでしこ銘柄」に選定されるのは、2014 年度以来、2回目になります。

当社グループでは、社員の多くを占める女性が活躍できるよう、「意識・風土の改革」「能力開発体系の充実」「ワーク・ライフ・マネジメントの推進」の3本柱で取組みを推進しています。女性のキャリア形成を支援する研修プログラムや両立支援制度の充実、働き方改革(ワーク・スマート)による社員一人ひとりの働きがい・働きやすさの追求、および企業間の交流機会や場の創出等自社の強みを活かした地域課題の解決支援の取組み等が評価されました。

<当社グループの主な取組み>(例)

取組み	具体的な取組事例
女性のキャリア形成を支援する研修プログラムや両立支援制度の充実	・次世代女性リーダー育成に向けた職位階層別研修プログラムの実施(女性社長塾、次世代女性経営塾、次世代女性リーダー塾等) ・育児、介護等両立支援制度の充実と制度の戦略的活用の促進  
働き方改革(ワーク・スマート)	・生産性の向上が顕著な所属への臨時給与上乗せによる社員への還元 ・働き方改革 MVP 表彰制度の実施 ・長時間労働の縮減に向けた取組み(終業時刻期限、早帰り日の設定等)
企業間の交流機会や場の創出	・全国の金融機関から女性支店長らを招いた「女性リーダー層交流会」の開催 ・セミナーや異業種交流会開催、社外講演等による地域課題の解決支援 

¹ 経済産業省は、東京証券取引所と共同で、2012 年度より女性活躍推進に優れた上場企業を「なでしこ銘柄」として選定し、発表しています。なでしこ銘柄は、「女性活躍推進」に優れた上場企業を「中長期の企業価値向上」を重視する投資家にとって魅力ある銘柄として紹介することを通じて、企業への投資を促進し、各社の取組を加速化していくことを狙いとしています。

現在、2018-20 年度中期経営計画『CONNECT 2020』において、グループの成長に向けた重点取組みのひとつとして、ダイバーシティ&インクルージョン推進を掲げています。「女性の活躍推進」においては、「女性リーダーの早期育成」から「女性リーダーの定着・安定輩出」のフェーズへと移行し、「本中期経営計画期間 25%以上」の目標を掲げ、「2020 年代に女性管理職比率 30%」を目指しています。引き続き、ダイバーシティ&インクルージョンの重要な取組みとして推進していきます。

当社グループの女性活躍推進等ダイバーシティ&インクルージョン推進取組みの詳細は、以下の
https://www.dai-ichi-life-hd.com/sustainability/important/initiatives/pdf/employee_001.pdf を参照ください。